

令和 4（2022）年度 資源評価調査報告書（新規拡大種）

種名	チカメキントキ	対象水域	日本海中西部
担当機関名	水産研究・教育機構 水産資源研究所 底魚資源部、富山県農林水産総合技 術センター水産研究所、石川県水産総 合センター、鳥取県水産試験場、島根 県水産技術センター	協力機関名	

1. 調査の概要

島根県、鳥取県、石川県および富山県における月別漁業種類別水揚量を集計し、主産地、主漁期等の漁獲状況を把握した。また、経年的な漁獲量情報が得られた3県（山口県、鳥取県、石川県）の2012年以降の年別漁獲量を集計し、現在の漁獲動向を判断した。なお、ここで集計したチカメキントキの漁獲量には、キントキダイ科の他種などが一部含まれる場合がある。

2. 漁業の概要

山口県、島根県、鳥取県、石川県および富山県における2021年の合計漁獲量は57トンであった。このうち、島根県の漁獲量が27トンと最も多く、全体の48%を占める。漁獲量は次いで山口県（13トン）と石川県（9トン）が多い（図1）。本種は周年漁獲されている（図2）。島根県では釣り漁業における漁獲が主体となっており、5～7月に盛期がある。鳥取県では2～6月に漁獲量が多く、2～5月は釣り漁業（一本釣り主体）、5～11月は底びき網漁業による割合が高い。石川県では6～11月に漁獲量が多く、釣り漁業および刺網漁業が主体となっている。富山県では年間を通じて定置網と刺網による漁獲が多い（図2）。

3. 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：北海道襟裳岬～屋久島の太平洋沿岸、青森県～九州南岸の日本海・東シナ海沿岸、瀬戸内海（稀）、東シナ海大陸棚縁辺域；韓国釜山、済州島、台湾海峡、広東省、インド～西太平洋（紅海を除く）に分布し（林 2013）、主に岩礁域や貝殻まじりの砂～貝殻・泥まじりの砂底域に生息する（山田ほか 2007）。
- (2) 年齢・成長：本種の年齢と成長に関する知見は得られていない。
- (3) 成熟・産卵：対象海域における本種の成熟と産卵は不明である。他海域の報告として、東シナ海の産卵期は6～9月と推察されている（山田ほか 2007）。成熟サイズについては、雌では体長 30 cm 以上になると成熟個体が出現し、35 cm 以上の個体では大部分が成熟していると報告されているが、雄では明らかではない（山田ほか 2007）。
- (4) 被捕食関係：イカ類、エビ類、魚類を捕食する。被食については不明である。

4. 資源状態

対象海域で漁獲される本種の資源動向や資源水準を判断するための長期的な漁獲量や資源量指標値は現時点では得られていない。現在の漁獲動向に関しては、経年的な漁獲量情報が得られた3県（山口県、鳥取県、石川県）での漁獲量の推移から増加と判断される（図3、表1）。

5. 資源回復などに関するコメント

本種はいずれの漁業種類でも必ずしも漁獲主対象ではないため、過度な漁獲圧はかかりにくいと推察される。本報告書で集計した漁獲量の大部分はチカメキントキのものであると考えられるが、一部他のキントキダイ科魚類なども含まれる場合があり、単一種としての集計が難しい。さらに、本種の生物学的特性や資源構造には不明な点が多く、さらなる情報収集が必要である。

6. 引用文献

- 林 公義 (2013) キントキダイ科. 「日本産魚類検索 全種の同定 第三版」中坊徹次編, 東海大学出版会, 秦野, 822-825.
- 山田梅芳・時村宗春・堀川博史・中坊徹次 (2007) チカメキントキ. 「東シナ海・黄海の魚類誌」水産総合研究センター叢書, 東海大学出版会, 秦野, 582-591.

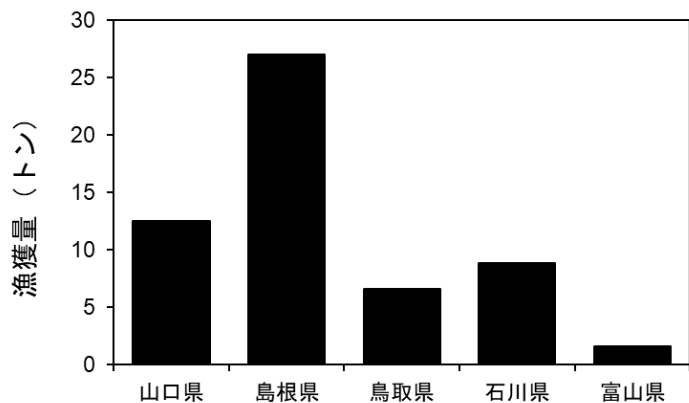


図1. 2021年の各県におけるチカメキントキの漁獲量

山口県は本資源の資源評価に参画していないが、データを提供いただいております、参考として示した。

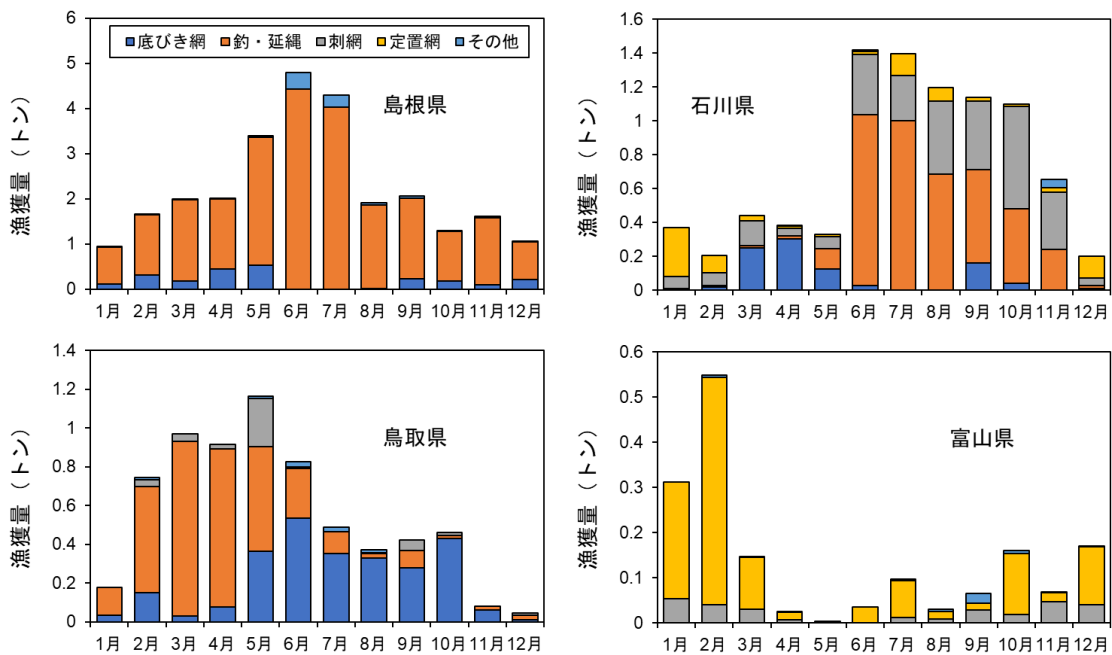


図2. 2021年の各県におけるチカメキントキの月別・漁業種別漁獲量（山口県を除く）

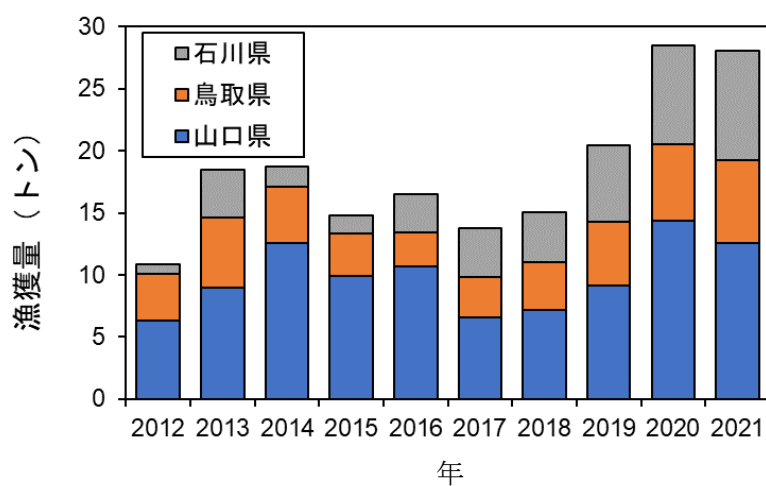


図3. 2012～2021年の山口県、鳥取県および石川県におけるチカメキントキの漁獲量の推移

山口県は本資源の資源評価に参画していないが、データを提供いただいております、参考として示した。

表 1. 2012～2021 年の山口県、鳥取県および石川県におけるチカメキントキの漁獲量（トン）

年	山口県*	鳥取県	石川県
2012	6	4	1
2013	9	6	4
2014	13	5	2
2015	10	3	1
2016	11	3	3
2017	7	3	4
2018	7	4	4
2019	9	5	6
2020	14	6	8
2021	13	7	9

*山口県は本資源の資源評価に参画していないが、データを提供いただいております、参考として示した。

令和 4（2022）年度 資源評価調査報告書（新規拡大種）

種名	チカメキントキ	対象水域	日本海中西部のうち鳥取県海域
都道府県名	鳥取県	担当機関名	鳥取県水産試験場

1. 調査の概要

(1) 漁獲量集計：沿海漁業協同組合の日別出荷者別漁業種別漁獲量を集計した。

2. 漁業の概要

- (1) 主要漁業：2018年までは小型底びき網、沖合底びき網で主に漁獲されていたが、2019～2021年は一本釣りによる漁獲が急増している。その背景として、春季に水深 80～120 m 付近の天然瀬等で魚群を形成すること、3月の引縄釣りでのヒラメ漁の不漁、4、5月のマダイの単価安の影響もあり、比較的、高単価で取引される本種を狙った操業に力を入れる漁業者が増加していることが挙げられる（図 1、表 1）。
- (2) 漁獲量の推移（図 1）：直近 11 年間（2011～2021 年）の漁獲量は 2.7～6.7 トンの範囲で推移している。2013 年の漁獲量 5.6 トンから 2016 年にかけて漁獲量の減少が見られ、漁獲量は 2.7 トンまで減少したが、以降増加し 2021 年はこの 11 年間で最高の 6.7 トンとなった（前年比 107%、直近 5 年（2017～2021 年）平均比 158%）。
- (3) 漁獲物の銘柄組成：これまで市場調査等による漁獲物組成の把握は行っていない。参考として 2022 年 4 月 20 日に賀露地方卸売市場に水揚げされたチカメキントキ 36 尾の全長測定を実施した結果、最小個体 31 cm、最大個体 43 cm、平均全長 37.4 cm であった。

3. 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：これまでの試験操業等から、水深 80～130 m の海底から中層に群れを形成して遊泳。過去行った釣獲試験から、水深 93 m の漁場において、水深 60 m 前後でも釣獲されたことから、日中はかなり離底し、索餌回遊を行うものと考えられた。また、天然礁、転石帯等、海底に若干の変化がある特定の海域で漁場が形成する。
- (2) 年齢・成長：不明。
- (3) 成熟・産卵：不明。
- (4) 寿命：不明。
- (5) 被捕食関係：甲殻類、魚類、頭足類などを餌としている。
- (6) 移動：不明。

4. 資源状態

本種は、岩礁帯等に生息するため、小型底びき網等では狙った操業はされておらず、混獲魚種の位置づけである。また、近年、一本釣りで漁獲が急増するなど他魚種の操業状況により漁獲量が大きく変化する可能性もある。このため、現段階では、資源水準は不明と

判断する。

直近 11 年間（2011～2021 年）の漁獲動向を見ると、2013～2016 年にかけて減少したものの、それ以降は増加し、2021 年は過去最高値であった。

5. 資源回復などに関するコメント

本種は、県東中部では「きんめ」、県西部では「あさひだい」、県全域で「へいけだい」という地方名でも呼ばれている。本種が居着く漁場は特定の天然礁等に限られているため、一本釣り、刺網ともに、主に本種を狙う漁業者はそれぞれ自分の得意漁場を有し、他者と別れて操業している。特定の者（チカメキントキの漁場を知っている者）しか漁獲しないといった形での水揚げ形態であり、漁業者個人に漁獲が依存する形となっている。このため、資源量指標値は得にくいと考える。

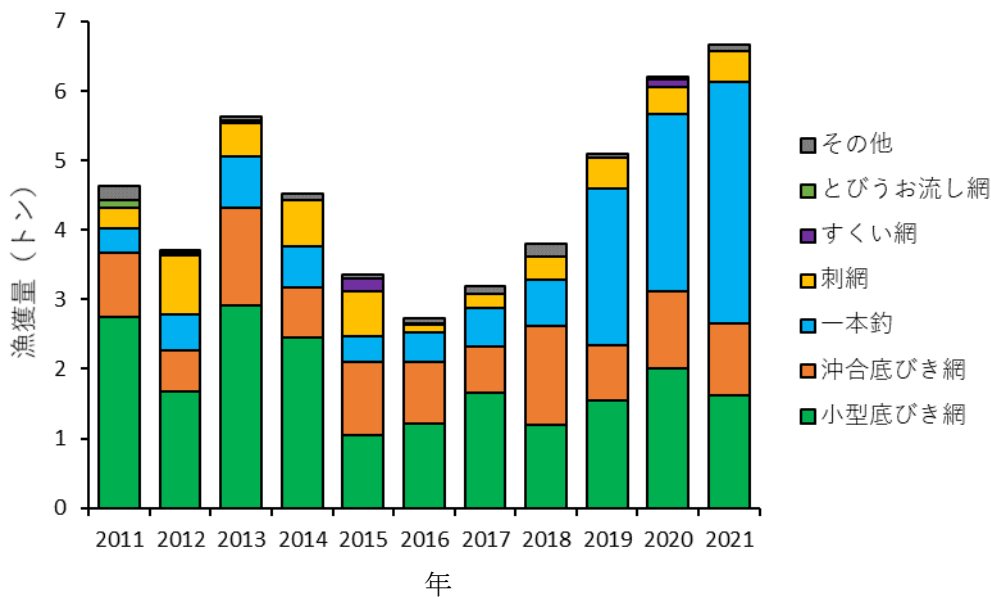


図1. 鳥取県におけるチカメキントキの漁法別漁獲量の推移

表1. 鳥取県におけるチカメキントキの月別漁獲量 (kg)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
2011	72	43	7	140	279	712	1,320	491	566	731	251	28	4,638
2012	62	95	75	175	139	409	747	393	833	564	84	130	3,707
2013	292	120	178	456	284	1,804	651	618	428	610	130	51	5,622
2014	163	85	90	183	194	1,124	865	531	638	395	229	31	4,527
2015	10	10	88	127	206	772	475	513	591	426	119	26	3,362
2016	105	18	94	103	89	584	398	375	388	322	232	27	2,735
2017	28	117	66	99	180	514	756	486	336	310	222	83	3,197
2018	297	138	213	132	187	299	591	364	285	635	377	287	3,804
2019	120	71	303	221	1,126	742	603	369	722	464	162	186	5,088
2020	96	213	1,229	632	746	371	833	705	536	565	234	46	6,206
2021	178	743	971	916	1,163	826	487	371	421	461	79	45	6,661